

〈今号の内容です〉

- 1・2 (面) **第5回「八雲が丘ホームカミングデー」を開催**
台風の影響で開始が遅れたり、参加者が減ったりしましたが、なごやかに楽しく盛大に行われました。
- 3 **2回目の「八雲が丘特別ホームカミングデー」の報告**
1期生～14期生対象の特別ホームカミングデーは今回が2回目です。
- 4・5 **第7回「八雲が丘賞」**
前期サッカー部、前期女子バスケットボール部のダブル受賞、初の運動部の受賞でした。
- 5 **桜修館・鳥屋尾校長先生からのメッセージ**
- 6 **「第71回記念祭」報告**
写真で見る記念祭レポートです。
- 8 **寄稿「亡霊伝説と二つの都高史」**
- 9 **事務局インフォメーション**
2019年度事業報告、同決算報告
- 10・11 **同期会・クラス会レポート**
8期、9期、11期、22期、44期
- 12 **事務局インフォメーション**
訃報、編集後記
会費納入のお願い、
「八雲が丘文庫」寄贈本の受付再開



パーシモンホールでの記念式典



第5回ホームカミングデーが盛大に開催されました

昨年度は、ホームカミングデーが2回開催されました。2019年10月13日(日)に、卒業後50年の19期生と25年の44期生をお招きした「第5回八雲が丘ホームカミングデー」。11月27日(水)には1期生から14期生が対象の2回目の「八雲が丘特別ホームカミングデー」が開かれました。いずれも「めぐろパーシモンホール」小ホールでの開催でした。

10月13日の「第5回」は台風19号の影響で開始が遅れたりしましたが、参加者100名近い盛会となりました。19期担任の伊藤孝先生、大石史子先生、44期の担任・山崎憲治先生にもおいでいただきました。



2020年(令和2年)6月30日

発行: 東京都立大学
附属高等学校同窓会
〒152-0023
東京都目黒区八雲 1-1-2
桜修館中等教育学校内
編集: 同窓会報編集委員会

44期生はこの後渋谷でホームカミングデーに参加できなかった同期生も合流して同期会が開かれ、大いに盛り上がりました。

(次ページに続く)

★ 本年度の「第6回八雲が丘ホームカミングデー」は、第20期生と第45期生を対象に秋に開催予定です。対象の皆さんには改めてご案内を差し上げます。

同窓会理事長の歓迎挨拶、桜修館中等教育学校・鳥屋尾史郎校長と米澤勝PTA会長の祝辞に続き、桜修館同窓会からは1期生の改田(かいでん)和弘さんからメッセージをいただきました。その後恒例の、在校時代の思い出を辿るスライドで、それぞれの高校生時代を懐かしく振り返りました。

桜修館校内見学のあと、ホールに戻って懇親会。校歌、学生歌を歌うほどに気分は高校時代に戻って、昔話や現況報告に花が咲きました。



恩師、19期生、44期生、来賓、同窓会事務局、全員集合です

ホームカミングデイに参加して

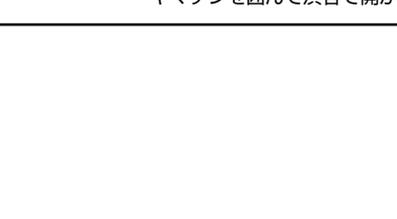
後宮邦彦・19期

台風で当日朝まで開催が危ぶまれましたが、1時間遅れで開催できました。

誰の頭の片隅にも新型コロナウイルスがない1年前のホームカミングデイでした。

私自身は準備段階からお手伝いしたこともあり相当盛り上がっていました。他の出席者の皆様も、50年前の出会いに思いを馳せ、楽しく意味深いひと時を過ごすことができたと思います。

幸いにも私のクラスは担任の大石先生にも出席頂けました。卒業後50年の集まりは、これが最初で最後。



逝ってしまった仲間も少なくありません。50年前の素晴らしい出会いを自分は大切にしてきたのだろうか？あの時代からもっともっと話をして人間関係を積み上げるべきだった。私はそんなことを考えていました。今からでも遅くない!!

各テーブルを回って、当時は言葉が交わさなかった方と会話が出来ました。短い時間でしたが珠玉の交わりでした。

ホームカミングデイを経てクラスの垣根が無くなるというか、小学校の集まりでも大学の集まりでもありえない、高校時代の集まりならでの経験でした。

スライドショー用の写真を集めようとしたのですが、これが結構難題でした。当時はアナログで黒白写真の時代。結局、卒業アルバムをスキャンして、スマホに落として老人用(笑い)に拡大して、なんとか体裁を整えました。

学校見学は休日のため残念ながら生徒諸君は不在でしたが、私は準備の段階で数回桜修館に向き、現役の中高生を近くで見られる機会がありました。未来を担う若者は頼もしく、又、可愛らしい。この伝統ある学び舎で得るものを人生の糧にして欲しいものです。

ホームランド

荻原英記・44期

まさか、東横線の改札口を探すことになるなんて。25年の歳月が渋谷の街を一変させたように、母校の佇まいや自分たちの姿がこの時間はどれほどの影響を与えたのか。少しばかりの不安と想像以上に大きい期待感のなかで台風一過の八雲ヶ丘へと向かった。

前日の台風直撃の影響は大きく、我々44期は半数ほどが出席を取りやめたのだろうか。働き盛り・子育て世代としては仕方ないと思われた。同じ部活にいた仲間を除けば、ほとんど卒業式以来の再会だったが、面影

を探すというようなこともなく、表面的には意外なほどに変わっていない。同じように自分も老けたからか、歳月のフィルターが自動的に重ねられていくようで面白い。

桜修館の校舎見学は貴重な機会だった。担任だったヤマケン(山崎憲治先生)も参加されており、机に向かい並んで椅子に座ると、当時の授業を再現したようで、屈託のない笑顔がこぼれる。この場所は私達のホームなのだ、そう感じた瞬間だった。

懇親会に続き、夜には渋谷で同期会が参加者を増やし行われた。イベントの後には毎回クラスごとに集まったことを思い出し、ゆるい時代を懐かしく語り合った。さらに時間を積み重ね、25年後、19期の皆さんのように元気に大人数で集まりたいと願う。

最後に、今回の開催にあたり企画運営に携わった幹事の皆さん、台風の影響下で予定変更などもあり負担が大きかったかと思えます。本当にありがとうございました。

19期は6クラス、上からABCDEF組

44期生は1994年、平成の卒業です

ヤマケンを囲んで渋谷で開かれた44期同期会



第2回「八雲が丘特別ホーム カミングデー」開催

2017年の第1回「特別ホームカミングデー」に続く第2回が、昨年11月にめぐるパーシモンホール小ホールで開催されました。当初1期から11期を対象としていましたが、参加人数の関係で12期も参加することになりました。

歓迎挨拶、ピアノ伴奏による校歌の斉唱、桜修館の学校紹介DVDの放映、西津啓子さんによるミニ・ピアノコンサートなどの後、桜修館校長、副校長先生の案内で校内見学。これが大変好評でした。

ホールに戻って懇親会開催。お酒も入り老々和気あいあい、思い出話に熱中し、肩を組んで校歌、学生歌、寮歌、記念祭歌を歌えば、気分は一気に高校時代でした。この「特別版」は、ホームカミングデー企画が始まった時すでに卒業後51年を経過していた第14期までの同窓生を対象としており、いずれ第3回も開催します。



会場はパーシモンホール・小ホール



若かりし頃の写真がパネルに

急遽のホームカミングデー

渡辺知之・12期

突戸理事長から特別版ホームカミングデー（以下HCD）への参加要請メールが届いたのは昨年11月3日のことである。11月27日に2回目の特別版HCDが開催されることは知っていたが、我々12期はその次ということになっていった。しかしながら今回は人数が少なくてもやらざるを得ないという事情を聞いて、20日前からの連絡では多数集めるのはとても無理と思いつながら、同期理事の小倉君の

協力を得てEメールで連絡可能なメンバー80人程に参加を呼び掛けた。

第1回特別HCDは2年前で、9期以前の大先輩が40名以上集まり（その時は事務局として参加したのだが）旧交を温める楽しさに加え現在の高校の様子を現場で紹介して頂き、面白かったので、多くの同期生に参加して貰いたかったのであるが、このHCDの12期参加者は10名という残念な事になってしまった。



スクリーンに校歌を映し出して斉唱

当日は（もっと早くから準備が出来ていればもっと多く参加出来たのにと）不満を胸に抱きながらの参加であったが、歓迎の趣向を凝らした催し、学校案内、会食と充分楽しめるプログラムであった。

この回は12期だけでなく、急遽招集されることになった13期と14期も、10名程度の参加者であったが、これらの期は1学年の人数が少ない割には同期会の参加者が多い学年である。会場の確保が非常に困難であること、準備が大変な事も充分承知しているが、再度これらの期を対象とする第3回特別版HCDが開催されることを望んで止まない。



目黒パーシモン小ホール 2019.11.27

74歳の若者から87歳の若者まで、八雲が丘に結集しました

第7回「八雲が丘賞」は初のダブル受賞 前期サッカー部と 前期女子バスケットボール部に

第7回「八雲が丘賞」は、本賞が桜修館中等教育学校・前期サッカー部、奨励賞が同・前期女子バスケットボール部と、初のダブル受賞となりました。

表彰式は、昨年9月8日夜の台風の影響で記念祭の



壇上には過去最多の受賞生徒が並びました

閉祭式が開催できなかったため、10月19日(土)の1学期終業式の会場で行われました。都立大学附属高等学校同窓会から前期サッカー部の皆さんに表彰状と記念品代10万円、前期女子バスケットボール部の皆さんに表彰状と記念品代5万円が贈られました。

受賞理由は表彰状の通りですが、二つの部とも日常の地道な努力と、活動に取り組む真摯な姿勢が高く評価されました。この賞は、桜修館の生徒



表彰状を読みあげて手渡します

の優秀な部活動や課外活動に対して、同じ八雲が丘で学んだ都大附高の同窓会から贈られるものです。これまで、日本文化部、フィードワーク部、写真部、美術部、科学部、創作部の皆さんが受賞、今回初めて運動部が受賞しました。

伝統と
手のぬくもり
佐藤親房・18期

八雲が丘賞の表彰式は台風の影響で1学期終了の日となり、理事長の代理でプレゼンターを務めることになりました。この様な席で後輩と会えることを光栄に思い当日を迎えました。

一緒に表彰式に臨む35期の石川さんと打ち合わせをし、桜修館中等教育学校のアリーナホールに行きました。ホールには6学年の全校生徒が集まっており、その人数に圧倒されました。前期サッカー部と前期女子バスケット部のメンバー全員が壇上に勢揃い、前期は中学生に相当し、かわいい



子供たちが大勢並びました。表彰式には同窓会から2期生の磯さん、21期生の根岸さんが立ち会いました。表彰状を読み上げ、代表に手渡し、部員一人一人と握手しました。この手のぬくもりが伝統を受け継ぐことの一助になれば幸いです。



金封で記念品代を贈呈

困難に打ち克つ桜修館を目指して

都立桜修館中等教育学校長 鳥屋尾 史郎



都立大学附属高等学校同窓会の皆様、日頃より桜修館に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、桜修館も3月より学校を休業としています。緊急事態宣言の延長に伴い、5月31日までをさらに休業期間としました。この期間中は、オンライン授業等を行っています。明確な見通しがまだ立っていないこともあって、今年度は学校として大幅な教育活動の見直しと、臨機応変の対応を行っていかねばならないと考えています。

3月に実施するはずであった合唱コンクールやアメリカの大学を訪問する

リーダーシップ育成研修旅行も中止としました。旧制府立高、都大附から受け継がれてきているクラスマッチや記念祭も例年のような開催が困難であるため、開催そのものを含め見直す必要が生じています。この夏に予定しているオーストラリア語学研修や部活動合宿も中止にせざるを得ません。活動の変更に伴って、同窓会の皆様には、これまでとは異なる御協力をお願いすることもあるかもしれませんので、その際はどうかよろしくお願いいたします。

さて、この4月に卒業した9期生の進路をお知らせします。東大合格6名、東工大合格5名、一橋大合格2名で、いわゆる難関国立大学合格は13名でした。東大合格者にはさらに浪人してがんばった7期生、8期生が3名合格したので、現浪あわせてだと9名合格しています。国立大学合格は

合計42名、難関私立大学合格127名(早稲田42慶応32上智21東京理科32)、GMARCH(学習院、明治、青山、立教、中央、法政)合格145名でした。

9期生の中の海外大学進学を目指していた生徒は、海外の難関大学に合格しただけではなく、4年間の学費と生活費を保証してもらえようような高額な奨学金にも合格しました。桜修館では海外大学進学希望者は毎年増える傾向にありますので、今回の海外大学合格は、後輩たちの海外進学希望者をさらに増やすものと思います。

桜修館の生徒たちも、今年度は休業で始まってしまいましたが、学校再開後は様々な困難を乗り越えていきたいと思えます。同窓会の皆様も体調管理にくれぐれも御注意いただき、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

後輩の活躍に拍手

石川恵子・35期

八雲ヶ丘賞表彰式のプレゼンターを行うことになり、初めて桜修館中等教育学校の卒業式を参観させて頂きました。式典が行われたアリーナホールには、私の在学中とは異なり、6学年の生徒たちが並び、その人数に圧倒されました。

表彰式では、前期課程(中学生)のサッカー部、女子バスケットボール部の代表の方に記念品をお渡しする他、部員の皆さんと一人ずつ握手をしました。中学生なので、特に小柄な生徒さんの手は小さく、可愛いと感じました。

他に、科学・かるた・陸上など、対外試合での優秀な成績による部活動の表彰も行われており、様々なジャンルに活発に取り組んでいる後輩の姿を見て、母校を大変誇らしく感じました。

活躍している後輩に改めて「おめでとう」と伝えたいです。そして素敵な機会を頂けたことに感謝します。

都立大学附属高等学校同窓会の皆様

令和元年10月30日
 桜修館中等教育学校
 前期女子バスケットボール部代表

拝啓 秋も深くなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日は八雲ヶ丘賞という素晴らしい賞を頂き、本当にありがとうございました。

私は女子バスケットボール部に所属しております。私たちは日々の練習に励み、今年の夏に中高一貫校大会で優勝することができました。そして今日このような形でも努力が報われ、とてもうれしく思います。これからは更なる高みを目指し、皆様の期待に応えられるよう頑張っていきます。

本当にありがとうございました。 敬具

前期女子バスケットボール部から届いたお礼状

「八雲ヶ丘賞」規定

- 趣旨**
この賞は、東京都立桜修館中等教育学校の生徒による優れた部活動、課外活動に対して、東京都立大学附属高等学校同窓会から贈られるものです。
- 賞と対象期間**
賞の対象期間は、4月から次年3月までの1年間とし、「優秀賞」および「奨励賞」の二つを設定します。2年以上にわたって顕著な実績を上げた活動に対して「大賞」を贈ることがあります。賞は、記念品または同等金額の活動費支援とします。
- 基準**
賞の選考基準は以下によります。
 ①年間を通じて継続的に活動を展開し、十分な実績を上げたもの
 ②前年度に比して活動の内容に顕著な向上が見られたもの
 ③対外試合、コンクールなどで優秀な成績を上げたもの
 ④その他桜修館生徒にふさわしい優れた活動を行ったもの
- 選考**
対象となる活動について桜修館中等教育学校の推薦をうけ、都大附高同窓会理事会において決定します。
- 賞の贈呈**
前年度の受賞活動に対し、原則として次年度記念祭の期間中に表彰し、賞の贈呈を行います。
(付記)この規定は、平成25年4月1日より施行します。ただし、賞の対象期間を平成24年度に遡って実施します。



準備も最後の追い込み。黄色のシャツは記念祭幹部



カウントダウン0=TODAY



今年のテーマは「遊園地」

2019年9月7日(土)、
 やってきました第71回記念祭。
 都立大附属高校時代の1949
 年第1回から数えて、なんと71
 回目です。桜修館1年生(中学
 1年)から6年生(高校3年)ま
 で24クラス950人ほどが全力
 投球の一大イベント、盛り上げ

第71回 記念祭特集

(桜修館PTA広報委員
 会から多くの写真を提
 供していただきました)

りました。
 ずらりと並んだ立て看板が
 31枚、校舎窓から下がる垂れ幕
 は24枚ありました。
 内容は実に多岐にわたって
 います。さまざまな展示が13、そ
 の中には同窓会の「八雲が丘の
 集い」も。旧制府立高校以来の



入場ゲートでプログラムをもらってTポイントへ



ずらーっと並ぶ名物の立て看板31枚



研究の成果がぎっしり並びます



校内いたるところに展示



同窓会の立て看板も



ん？科学の実験にはトリケラトプスが欠かせない？



サブアリーナでは人気の軽音楽ライブ



Tポイント前の5年生の吹奏楽部は大変な人気



生徒昇降口Tポイント前の看板



演劇は旧制府立高校以来の伝統です



P T Aの合唱サークル「コーロ・セレッサ」



同窓会ルーム「八雲が丘の集い」



旧制府立高校時代の資料や古い写真など展示



台風のため残念ながら繰り上げ終了でした



AB棟間の2階コンコースで恒例の合唱イベント

伝統ある演劇が10、飲食模擬店12、演奏会などイベントは10、さらに屋外のTポイント前(生徒昇降口前の中庭のような場所)のイベントが18。

同窓会では、例年通り同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展、旧制府立高校以来の資料、写真、年表の展示、記念祭歌などのDVD放映を行いました。

2日目の昼には、これも恒例の「校歌、学生歌、寮歌、記念祭歌を歌おう」イベントを行いました。



プログラム

2日目の8日(日)が、台風の接近により時間を繰り上げての終了となり、次の日の「閉祭式」ができなかったのは残念でしたが、やっぱり記念祭はいいものです。今年の第72回が新型コロナウイルスの影響なく開催されることを祈りましょう。

亡霊伝説と二つの都高史

山内通生・18期

体育館に男子学生の亡霊が出るという。それだけでなく夜の学校は怖い。「何かが見えそうな「古城の闇」ひとりのときはバス通りまで息を止めて駆け抜けた。

50年後、同窓会定期総会で思い切って訊ねると、先輩方が口々に語ってくれた。「昭和26年の記念祭終了の夜、2年生だった川上さんが体育館屋上から墜落死、飲酒がからみ大きな問題になった」「優秀な生徒で惜しまれた。」「吉松安弘さん(2期)が『旧制高等学校生の青春彷徨』く旧制府立(都立)高等学校の昭和時代(彩流社刊)に書いているので読んでみては。嶋津和行さん(26期)のひと押しがあったよ。

府立高生の矜持
——昭和4年、「府立高等学校」は川田初代校長の大奮闘で、現・日比谷高校、当時は一中の移設地だった永田町で開校。他の府立中学の猛反対がなければ「一中

が府立高校に昇格」していた。同じ中高一貫7年制の東京高校(国立)との混同を避け、校名には「東京」がない。やがて新校舎が完成し、「懸案の校歌」は決着したが、東横電鉄社長・五島慶太郎の「八雲が丘」に軍靴の音が迫る。イートン校の理想は遠ざかるが、生徒は自治と自由の精神を失わなかった。多くの寮歌や学生歌・記念祭歌が誕生し、教師・校長と生徒間には深い絆が育まれる。3年生たちは、「川上さん事件」の飲酒疑惑から、校長と学校の名誉を必死で守った。三浦朱門をして「大日本帝国のぜいたく品」と言わしめた旧制高校。府立高校の歴史を巡ることは決して懐古趣味の時代錯誤ではない。

高の伝統に危機をもたらしたのには、「浅薄な平等主義」の「学校群制度」や「ゆとり教育」など、戦後一連の「愚民教育」「自虐主義歴史観」であると喝破。本書に



「新制都高」の語り手を待望すると、昨年、同窓会を手伝うなかで福原和子さん(5期・ペンネーム安曇野和子)の長編『目とめゆへ心』(文芸社刊)に出会った。下巻の「高度経済成長期の青春」——内気だった「吉崎和子」は、中学3年の担任のひとことに力をもうけ、希望に燃えて高校へ。昭和27年、入学式の日には「姉が中学で着たレーヨン服でよいと思っていたが、お母様が純毛生地を買ってきて縫われた通学服」。まず目にしたのが、「新制東京都立大学」となった「府立高校の堂々とした立派な戦前の建物」「附属高校はグラウンドの奥の原っぱにあり、戦後の粗末な木造建てだった」。当時の世相や家族の様子、『青春彷徨』にも登場する生駒・斎正子先生の授業の魅力、「川上さん」はまだ直近の事件だった学校の日々、友情と深い思いなどが、驚くほどの瑞々しさで再現されている。読み始めた瞬間から引き込まれ、「高校の章」全76頁は都高の3年間のように短くて切ない。「和ちゃん」は、2年の記念祭クラス劇『湖の娘』で予期せぬ主役に抜擢される。上演直前に体調を崩し、終幕時のハプニングで最後のせりふが出てこなかったものの見事に演じ切り大役を果たした。

実は、照れ屋だった筆者も2年の記念祭で『狼生きる豚は死ぬ』の中岡慎太郎役で出演した。途中、うっかり眼鏡姿で登場し客席は騒然としたが、咄嗟の「演技」で潮が引くように沈黙。今は亡き龍馬役・山中翠君と立川静枝さん・クラス一丸の熱演が終わると大きな拍手に包まれ、授業の冒頭で大山さん、丸山さんほか先生方からお褒めを頂いた。成功の秘訣は演出にあった。担当した吉田和隆君と、今は病と闘っている清末芳生君が、同じ公演を終えたばかりの劇団四季を訪ね、貴重なアドバイスを頂いたのだ。



『旧制高等学校生の青春彷徨』
——旧制府立(都立)高等学校の昭和時代
吉松安弘/彩流社
¥25030
『目とめゆへ心』
く戦中・戦後の少女時代
安曇野和子/文芸社
¥18700
『目とめゆへ心II』
高度経済成長期の青春
安曇野和子/文芸社
¥15400

光る演出といえば、昭和20年終戦の年の「歴史的名演」といわれる理乙の『シラノ・ド・ベルシュラク』。その甘美さとロマンで観客を酔わせ、皆川達夫さんの卓越した演出は、客席の熊倉一夫さんや三善晃さんのその後大きな影響を及ぼしたという。『青春彷徨』より・・・戦後、旧制府立高校は「多くの新制都立高のひとつ」になったが、「八雲が丘」のあの講堂や体育館は、いつの時代も青春の晴れ舞台であった。振り返れば、筆者が高1の時に、同期の三浦達男から聞いた「亡霊伝説」。そこからつながったこの拙文。人生の不思議を少々感じている。

事務局インフォメーション

● 2019年度事業報告

2019年版の会報は、例年通り6月30日に初めて?の16ページ建てで発行。9,000部を印刷し、国内会員8,251部、海外在住会員97部、特別会員(恩師)158部、計8,506部を発送しました。他に桜修館教職員・生徒・PTA・桜修館同窓会に計200部配布しました。

9月7日、8日の両日、第71回記念祭が行われ、B棟2階201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展しました。歴史的資料・写真・年表を展示したほかDVDを終日放映、2階コンコースで「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」合唱イベントを実施しました。

第7回「八雲が丘賞」は、本賞に前期サッカー部、奨励賞に前期女子バスケットボール部を選出。受賞式は台風で延期され、前期終業式の会場で行われました。ダブル授賞は初めてです。(詳細4・5面)

八雲が丘ホームカミングデーは、19期生と44期生対象の「第5回」と1期生から14期生が対象の「特別版」の2回行われました。今回は抽選でめぐろパーシモンホールが確保できました。(詳細は1・2・3面)

八雲が丘学友会は、年4回の会合がおこなわれ、旧制府立高、都大附高、桜修館の3校同窓会の結束、継続を図るとともに、学校、PTAとの情報交換の場として活用されています。

● 2019年度決算報告

2019年度の決算は25万円余りの赤字となりました。ホームカミングデーの会場がいずれも有料のパーシモンホールだったこと、会報のページ数が16ページになったこと、八雲が丘賞の受賞が2団体だったこと、などが要因です。

ただ赤字にはなりませんが、それほど悲観的な状況ではありません。2013年から2015年の3年間は年平均120万円強の赤字が続きましたが、2016年以降の赤字幅は年平均17万円ほどになっています。これは経費圧縮に務めたことと、なによりも会費を納入していただいた会員が増えたことによるものです。

会報発行・発送に関わる費用が全体経費の70%を超えている状況は変わりませんので、より活動の幅を広げるため一段のご協力をお願いします。

◆ 2019年度中の会議ほか

2019年	5月14日	2018年度会計監査
	5月18日	八雲が丘学友会第37回会議
	7月6日	2019年度上期「理事・監事・評議員会議」
	9月6日	記念祭準備会
	9月7、8日	第71回記念祭「八雲が丘の集い」出展
	9月21日	八雲が丘学友会第38回会議
	10月13日	第5回「八雲が丘ホームカミングデー」
	10月19日	第7回「八雲が丘賞」表彰式
	11月27日	「八雲が丘・特別・ホームカミングデー」
	11月30日	八雲が丘学友会第39回会議
2020年	1月26日	2019年度下期「理事・監事・評議員会議」
	2月15日	八雲が丘学友会第40回会議
	3月13日	拡大会報編集委員会(新型コロナで中止)

◆ 2020年度役員(予定)

理事長・会報編集担当 常務理事・事業担当 常務理事・音楽催事担当	宍戸 迪武(13期) 佐々木浩二(15期) 佐藤 文行(17期)	常務理事・ホームページ担当 常務理事・名簿管理担当 常務理事・会計担当 監事	嶋津 和行(26期) 石川 恵子(35期) 下村 聡美(43期) 饗原 利憲(11期)
--	--	---	--

【表I】2019年度貸借対照表(財産目録)
2020年3月31日現在

科目・摘要	金額(単位:円)
1. 資産の部	
現金及び預金	-
現金	-
みずほ銀行普通預金	887,366
みずほ銀行定期預金	5,006,192
ゆうちょ銀行当座預金	4,225,517
ジャパンネット銀行普通預金	1,002,480
現金及び預金計	11,121,555
資産計	11,121,555
2. 負債の部	
未払金	-
負債計	-
3. 正味財産の部	
前期繰越正味財産	11,378,734
当期正味財産増減額	-257,179
正味財産計	11,121,555
負債・正味財産計	11,121,555

【表II】2019年度正味財産増減計算書
2019年4月1日～2020年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)
I. 経常収益	
1. 受取会費	2,502,000
2. 寄附金	21,917
2. DVD等販売収入	6,000
2. 利息収益	14
経常収益計	2,529,931
II. 経常費用	
1. 会報費	
会報原稿作成費	155,520
会報印刷製本料	801,484
会報通信運搬費	1,048,532
会報費計	2,005,536
2. ホームカミングデー費	
懇親会費収入	-430,000
懇親会費支出	445,300
案内送付先作成送付費用	6,640
会場等賃借料	178,300
HCD雑費	21,674
ホームカミングデー費計	221,914
3. 記念祭費	
通信運搬費	-
表彰金	150,000
記念祭雑費	38,256
記念祭費計	188,256
4. 経常管理費	
旅費交通費	5,000
通信運搬費	22,779
支払手数料	248,930
会議費交際費	82,034
消耗品費	12,661
雑費	-
経常管理費計	371,404
経常費用計	2,787,110
当期正味財産増減額(経常損益)	-257,179

監査報告:
財務諸表、帳簿、証憑等を精査し、上記決算書に誤りがないことを確認します。

2020年5月14日

監事 饗原 利憲 (印)

同期会・クラス会レポート

第8期傘寿同期会

日時：2019年11月16日
会場：NEC玉川クラブ
出席：35人

8期同期会は毎年開催されている。選歴の年には既に20数年以上続いている。この年にVHS「同窓会に行こう」2005年にDVD「MEMORIE S」が作成されている。共に仙波の力作である。お元気であった頃には、小野・



小松・喜多他の諸先生にも毎年のように出席して頂いていた。長いことNHKの青山荘で開いていたが、3年前に今の会場に移った。開催日も11月第3土曜日と固定化された。参加者数は10年が51人、それ以後17年まで40

人台を維持していたが、この3年は30人台になってしまった。連絡は特に要

第9期同期会

日時：2019年11月27日
会場：めぐろパーシモンホール
出席：35名

請があった人を除いては電子メールで行われるようになって久しい。しかし、近年失念のためドタキャンが発生するようになったのでメールや電話での確認が必要になってきた。会は立席中心から円卓を囲む形になった。歳から仕方がないが、亡くなられた方への黙祷と思ひ出話から会が始まる。皆さん益々饒舌になっていくので、3時間半はあっという間に過ぎる。青山荘時代には、渋谷での2次会に流れて行ったものだ。(岩田末廣・記)

令和元年が卒業60周年にあたる9期生は、これが最後になるかも、という幹事の脅かされた案内に、懐かしいの都立大学跡地にある、イタリア料理店に4年ぶりに集まりました。集まる度に物故者、体を壊す友が少しずつ増える寂しさは拭えませんが、集まれば忽ち60年の時空を飛び越えて昔の少年少女に立ち戻ります。古希を過ぎてから向学心が再燃して国立大学工学部で学位を得たY君をはじめ、車椅子で参加の元名司会のA君、まだ現役の会社役員を務めるS君、趣味の農業に



励んで自慢の見事な収穫物を持参して披露してくれたK、T両君の近況報告など話題は尽きず、更にはもう一人のK君のバイオリンのクラシック演奏、H君のウクレレ弾き語りのハワイアンにやんやの喝采を送るなどのうちに予定の時間が

第11期同期会

日時：2019年6月13日
会場：東洋文庫ミュージアム内「オリエント・カフェ」(文京区本駒込)

過ぎ、吉例のオンチのI君指揮による校歌斉唱で幕を閉じました。何人かは同じ建物で行われたホーム・カミングの催しに流れて先輩後輩との交歓に加わりました。「これが最後」でない方がいいな、という声も聞こえてきました。(朱牟田静雄・記)

出席：51名(内、海外居住者3名)
私達第11期生は男子100名・女子50名、3クラスの時代です。2年おきに同期会を開催してきています。毎回クラブを中心に、幹事を持ち回りで運営してきましたが、今回はバレーボール部が担当しました。

会場は、本の博物館として知られる東洋文庫内のレストランを、貸し切りで使用できることになりました。縁に囲まれ、傍には博物館という落ち着いた素敵な雰囲気のレストランは今回の目玉でした。

開会挨拶、物故者の報告と黙祷、乾杯、歓談といつも通りに始まり、進行しましたが、音智部の指導による全員による校歌と寮歌の斉唱は、同期会恒例の行事です。皆さん、はるか昔の高校生時代に戻って、声を張り上げて楽しく歌っていました。その後、会場にピアノがあったことで、目下ジャズ修行中というY氏によるジャズ歌唱とK氏のピアノ伴奏を急遽お願い(押しつけ?)し、好評を博しました。(昔の都立高時代しか覚えていない筆者にとっ

ては、彼らの年齢を超える素晴らしいパフォーマンスには本当に驚きました。)
最後は、中庭で写真撮影をして、2年後の再会を約束して散会しました。今回、大変嬉しいことに前回は上回

同期会・クラス会レポート



る出席者となりまして。これまで毎回参加者が減ってきていました。久しぶりの参加者も多数いました。一つには皆さんまだまだお元気で、あることは勿論のことですが、身内の介護が終わり、余裕ができたことがその背景にあるようです。そして、都立高で過ごしたのとは違った3年間でしたが、その間に自由に過ごした楽しい思い出と懐かしさが今でも胸にある方々が多いからでしょうか。2年後を約して

別れましたが、さて次回は何人が集まられるのでしょうか。この同窓会報を通じて、改めて同期の方々に呼びかけます。「次回も元気で集まりましょう。」

(田村真人・記)

第22期D組クラス会

日時：2019年11月9日(土)

会場：銀座ライオン汐留店

出席：20名

毎年恒例のクラス会を今回は新橋駅から少し離れた隠れ家的なお店で開催しました。

安田君の歓杯の音頭で開会、飲み放題のお酒と料理を堪能しながら、再会を祝い、学生時代を懐かしみ、お互いに近況を伝え合い、病氣自慢で笑いながら、多いに盛り上がりました。合間には、青春フォーク・ソングをギター



伴奏で歌う場を設けて皆で何曲か合唱しました。

今回も3年間クラスを担当された前澤様が元気な姿でお越しいただきました。衰えてきた元生徒達との差が縮まったような気がしました。

年々体調不良や病氣等により出席者が少しずつ減ってきていますが、貴重な再会の場を今後も続けてゆきたいと思えます。

最後は前幹事の内田から締め言葉と記念祭歌の音頭を取って2曲、最後に三本締めを行ない、無事終了しました。

(内田稔・記)

第44期C組クラス会

日時：2020年1月11日

会場：わらやき屋 新宿店

出席：10名

2019年10月に催されたホームカミングデーには遠方の為に出席出来なかったのですが、年末年始の帰省を機に年明けに開催してもらったクラス会は、懐かしくとも楽しいものでした。嬉しいことに3年間担任でお世話になった町田先生もお越し下さり、感動の再会となりました。卒業時にクラスの皆でプレゼントした寄せ書きの色紙と当時の写真をわざわざ持って下さり、高校時代の思い出話に花が咲き、それ



それぞれの近況を報告し合ったりであったり、卒業して25年が経ち、見た目こそ立派なおじさん、おばさんになりましたが、学生時代の友人達に会うと一瞬でタイムスリップしたかのように当時の記憶が色々と思い起こされました。そして皆が変わらず元気に過ごしていることが何より嬉しかったです。

同級生が普段利用している身近な企業で働いたり、障害がある方の就業支援に志を持って取り組んでいたり、夢を叶えて希望の仕事に就いたり、海外で活躍したりと色々な話を聞けて大変興味深かったです。今後も定期的に集まれる機会を持たら嬉しいね、と次の開催を楽しみにお聞きとなりました。次回はさらに参加してくれる方が増えると嬉しいです。

(上元いづみ・記)

事務局インフォメーション

年会費 2000円 納入のお願い

同窓会活動をより充実させるため、今年も会員の皆様のご協力をお願いいたします。今回納入をお願いするのは2020年度の会費 2,000円です。

- ③ 3年会費 5,000円は廃止されています。
3年以上前の払込取扱票は使用しないでください。

次の方は、納入していただく必要はございません。

- ① 特別会員の先生方
- ② かつて終身会費 30,000円を納入された方

①②の方には会費払込取扱票が同封されていません。万一同封されていたら何らかの間違いですので、事務局までご連絡いただくと助かります。

<会費納入の方法>

- ゆうちょ銀行、コンビニ
同封の払込取扱票をお使いください。
- 銀行振り込み
ジャパンネット銀行 すずめ支店(支店番号002)
普通預金 6271398
(口座名義) トウキョウトリツダイガクフゾク
コウトウガッコウドウソウカイ

ATMから振り込む場合およびネットバンキングご利用の場合は、振り込み人の名前を修正して、名前の前に「卒業期・クラス」を入れてください。(例=13Aトリツタロウ)

「八雲が丘文庫」再開します

いくつかの問題点を解消し、「八雲が丘文庫」への寄贈本の受付を再開します。ご自分の著書で、ぜひ中学生、高校生に読んでもらいたい本をご寄贈ください。下記の要領でご協力をお願いいたします。

- ① 受付再開は10月からです。
- ② 寄贈を受ける著作は書籍のみといたします。
- ③ 卒業生本人の著書に限ります。
- ④ 収容能力に限りがあり、寄贈は1冊ずつ2種類まで。

寄贈本は、下記までお送りください。

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2
桜修館中等教育学校内 「八雲が丘文庫」担当

今年の3、4、5月は、新型コロナウイルスに振り回された、いや閉じ込められた異様な春でした。都立の学校は休校が続ぎ、桜修館でも恒例の行事が次々と中止になっていきます。毎年9月上旬に開催されている伝統の「記念祭」も例年通りでできるかどうか微妙です。

第6回「八雲が丘ホームカミングデー」は、10月18日に開催を予定しています。お招きするのは20期生と45期生の皆さんです。詳細は改めてご案内いたしますが、新型コロナウイルスの影響なく何とか開催できればと思っています。

来年の同窓会報も、6月30日発行予定です。奮って原稿をお寄せください。原稿締切りは4月30日です。



編集後記

- 同窓会報編集委員会
- 13期 去戸 迪武
 - 14期 川田 秀文
 - 21期 根岸 之夫
 - 26期 嶋津 和行
 - 35期 石川 恵子
 - 43期 下村 聡美

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

期・組	氏名	旧姓	訃日
体育	渋谷 梢先生		2019年1月
英語	橋本 雅先生		2019年4月20日
1A	佐藤 信二		2016年5月3日
2B	福川 隆夫		2018年6月15日
2C	竹内 英彦		2019年6月1日
3A	長島 保		2018年11月
3A	増子 昇		2019年9月
3B	三田村昌生		2019年10月
3C	篠山 弘枝	杉崎	
4B	飯沼 智行		2018年1月4日
4B	高橋 寿		2019年7月12日
4B	長野 久		2015年9月28日
4B	物部 長武		2016年1月17日
5A	本間 義夫		2019年2月25日
5C	飯坂 成一		2019年4月11日
6B	長井 康平		2019年7月22日
6B	福島 昭		2018年8月14日
7A	秋山 宏		
7C	山本 次郎		
7C	雪田美美江	高野	
8B	安井 康子	小林	2018年5月2日
9A	福田 肇		
10B	千葉 安昭		2018年9月
10B	長島 俊一		2018年12月13日
12B	阿比留貞夫		2020年4月
15D	山下 茂	河合	2019年10月24日
15D	後藤 政人		
17D	矢藤 実		2018年10月16日
17E	後藤 茂		2019年5月22日
19A	吉田 誠二		
19A	米田 雍子	吉永	
19B	青木 一男		2006年
19B	小笠原一夫		2019年
19E	沢田 恵		
19F	木村 幸一		2009年2月
19F	寺分 滋巳		2012年9月
20A	広瀬 丈治		1995年
21E	小原 進		2019年6月5日
24E	河合 悟志		2018年10月20日
25B	田口 恵子	滝沢	2012年
31B	小倉 一明		2019年3月29日
47A	松本 郁子		

同窓会事務局に連絡のあった方のみ掲載しています

同窓会への連絡方法

住所の変更、訃報、その他の同窓会への連絡は下記のいずれかの方法でお願いします。

- インターネット
同窓会のホームページの <http://yagumokai.org> を開くと一番下の右端に「Contact us」ボタンがあります。クリックするとメールフォームが出ます。
- 郵送
〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2
都立桜修館中等教育学校内
都立大学附属高等学校同窓会
または
〒152-0002 東京都目黒区目黒本町4-23-6
六戸方 都立大学附属高等学校同窓会事務局